



ファイギュアミュージアム

川部 洋議員



選挙区 倉吉市 会派 希望のぞみ

問 倉吉の円形校舎にファイギュアミュージアムを誘致する民間の事業計画があるが、まんが王国のシンボルとなりうるこの事業を県が

もっと積極的に支援すべきではないか？

答 倉吉市が動き出せば、県としてもまんが王国の観光振興、または地方創生として支援のスキームも考え得ると思う。具体的な話になれば、市ともよく調整していきたいと思うし、関係者とも膝を交えて、今後のプランづくりや協議に参加していきたいと思う。

特別支援教育について

浜田 妙子議員



選挙区 米子市 会派 民主党

問 ①半年になる県立鳥取養護学校の問題解決方針を問う②インクルーシブにシフトする特別支援教育のあるべき姿は③変化に取り残された市立米子養護学校のあり方を早急に決めるべきだ。

答 ①総合的バックアップ体制を組み一月から専門的技量のある看護師を入れる。解決の基本は対象でなく主権者と思い、道筋を探るべき②（教育委員長）相互に学ぶ合う環境を作っていくことが重要③（教育長）総合教育会議等を通じ、病弱部門の整備につき議論したい。

9号と431号の課題

内田 隆嗣議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

問 国道9号線と431号線の交差点付近の土地利用の規制緩和について、隣接するイオンや農業施策との調整を図りつつ市街化地域と位置づけ、西の玄関口にふさわしい魅力的なにぎわい空間を育成するとしているが、具体策について伺う。

答 米子市の意向等実情を勘案し、地区計画を導入し景観・環境整備を進めるためのできる限りの協力・支援を行ってまいりたい。

ジオパークや臓器移植など

銀杏 泰利議員



選挙区 鳥取市 会派 公明党

問 ①ジオパークの取り組み強化を②臓器提供意思表示と移植の学習を③脳脊髄液減少症治療推進を。

答 ①ユネスコジオパーク道府県連合を立ち上げ行動を起こす。コムス（※1）と電動自転車配置のステーションを2カ所設置、県境までのロングトレイル（※2）設

置とその記念全国大会開催、自然学習館・渚交流館一画の整備等を検討②意思表示PRに一層努める。（教育長）移植出前講座をより多くの学校に活用③研修会実施や公立病院での診療開始はできるだけ対処したい。

県立美術館の立地条件

興治 英夫議員



選挙区 倉吉市 会派 民主党

問 県立博物館の来場者は、東部62・6%に対し西部5・5%と少なく問題だ。新美術館は中部にあれば西部、東部からも訪れていた。県内各地からの訪れやすさを立地条件の一つにすべき。空港の近くという条件の意味は。

答（教育長）西部が少ないのは立地場所も大きく影響しているかもしれない。一義的には県民の利用が目的。次回検討委員会に報告して議論いたたく。鳥取・米子両空港が使えるのと距離が近いのと、どちらがいいとはまだ言えない。



※1 コムス……トヨタ車体（株）が開発した超小型電気自動車
※2 ロングトレイル……山や森林など自然の中を通る長距離自然歩道

淀江産廃処分場の中止を

錦織 陽子 議員



選挙区 米子市 会派 共産党

問 11月の「水を守るための住民会議」は若い人たちが自主的に計画を進めてきた。当日の知事への一言を紹介する。全国に誇る名水の里を守って。日本の原発問題と同じ。地下水汚染の可能性のある処分場を許可できるのか、など多数の声があった。感想を。

答 ご意見を真摯に受け止め、今後の対策に生かす。環境を害さない処分場をどう担保するかが重要。水も健康も害される可能性があるものなら体を張って抵抗する。県民の声に従って検証する。

県民に良質な映画の提供を

前田 八壽彦 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 県芸術文化祭の一環として県民に良質な映画を届けては。

答 鳥取フィルムコミッション等が映画の上映を頑張っている。しまね映画祭みたいな全県的なプロジェクトがあれば応援したい。今

でも鳥取力創造運動で映画関係イベントを行えるが、全体で集まってやることとなれば別格的な事業も組める。よくよく関係者とも意見を合わせ、鳥取県ゆかりの映画監督の紹介等いろんなことを含めてやっていけばよいと思う。今後関係者と話し合ってみたい。

県税徴収といじめ・不登校

広谷 直樹 議員



選挙区 岩美郡 会派 自由民主党

問 ①地方税滞納整理機構の課題と今後について②いじめ再調査結果についての所感③フリースクール連携推進事業を進める上で知事部局・教育委員会・教育現場の連携が重要だがどう考えるか。

答 ①発足5年だが、各市町村にいろんなテーマがあり運用面の改善が必要。関係者の意思疎通を図り向上させたい②調査の指標が変わっただけで、実態が非常に悪くなったのではない③官民協力し不登校から立ち直り、教育を支えられるようしっかりと連携を図る。

知的障がい者県の正職員に

澤 紀男 議員



選挙区 米子市 会派 公明党

問 平成27年2月議会で知的障がい者の県正職員採用試験について取り上げたが採用計画・処遇・周知について、また、給与体系についても知事に伺う。

答 正職員採用について検討してきたが、新年度の採用を若干名していく。知的障がい者の方の取り組みやすい内容の仕事をしていただく、6〜7月ごろに募集を行う。業務内容に合わせた給与水準を考えており、これから来年度の採用試験に向けて具体的なことを定めてまいりたい。

18歳選挙権で投票率向上を

森 雅幹 議員



選挙区 米子市 会派 民主党

問 18歳選挙権は、投票率を上げる唯一無二のチャンス。大学等に期日前投票所を設ける取り組みなど新たに考えてはどうか？

答 (選挙委員長) 鳥取市は1日限定でだが、鳥取大と鳥取環境大で

期日前投票所の設置を決定済。大学生のみならず鳥取市の選挙人も利用できる。そのほか大学等への期日前投票所の新設を含め、若い人の政治意識の向上や投票率の向上への取り組みに、県教育委員会や市町村選管、関係機関と連携して積極的に取り組んでいきたい。

子ども、自衛隊受験、労働

市谷 知子 議員



選挙区 鳥取市 会派 共産党

問 ①保育料第1子振替軽減継続②保育士不足と処遇改善③子ども貧困対策計画にあしなが学生の意見反映④射撃訓練ある自衛隊学校の中学での受験案内と智頭中保護者同意なし受験の中止⑤労働者の声で補助金受取企業のは正⑥鳥大改革は教員養成残し地域貢献相談。

答 ①来年度予算で調整②保育士不足は取組検討。給料調査結果は公表。県助成しない③当然意見聞く④情報提供必要。志願票は保護者と作成に改善⑤声を聞き改善し労働局にも話す⑥意見交換し協力。



不妊治療助成について

松田 正議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

問 年齢・回数制限等、国の方針が大きく変わるがどう対応するのか。また若年世代を不妊治療へ誘導するための初期検査助成の創設、男性不妊（無精子症）治療の助成強化についての方針を伺う。

答 本県は年齢・回数制限なしでやってきた。従来政策から過度に撤退し過ぎない程度の修正を考えた。初期検査の助成制度は当初予算で検討したい。無精子治療は従来から特定不妊治療の助成対象に入っているが国の検討状況を見たと上で年明けに対応を考えたい。

障がい児者施策のあり方

浜崎 晋一議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 障がい者雇用を更に進めるために、大きな企業のみならず、広くあいサポート企業の協力を求める必要があるのではないか。

答 小規模なあいサポート企業にも障がい者雇用を促すようキャン

ペーンを展開していきたい。

問 布勢総合運動公園を記録が出て、障がい者に優しい競技場となるよう、どのように整備するのか。

答 現在、日本財団と協議中だが、全国レベルの最新の機能を整備し、障がい者も健常者も活用できる施設としていきたい。

工業団地造成知事の考え方

中島 規夫議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 交通アクセスも目に見えて充実し企業の進出圧力、事業拡張圧力が強まってきた今、県の工業団地造成支援「具体的な企業立地が見込まれる場合に限定される」この但し書きを改め市町村の企業誘致に、もっと積極的に協力しては。

答 県内の状況をみて、どのような対策が考えられるか再調査し、平成28年度当初予算に向けて議論させていたたく。

手話歌に学ぶ人権政策

福岡 裕隆議員



選挙区 西伯郡 会派 民主党

問 ①解放文化祭での手話歌の感想は。②同和地区実態調査は必要。なぜ打ち切りになったのか。実態調査もせずに人権政策を実行しておられるのか。

答 ①大変にすばらしい取り組み。同和対策という取り組みがこの世の中に果たしてきたその重みを感じる。②別の手法、隣保館なり地域をよく見ている人たちの面接調査等でも分かる。学習支援や奨学金の活用等の手法を使って、問題意識に迫っていただける体制を組んでいかなければならない。

観光施策と少子化対策

浜田 一哉議員



選挙区 境港市 会派 自由民主党

問 ①大山開山一三〇〇年祭に向け世界に発信していくべき②老朽化した境港周辺の緑地公園の将来像を見据え、利用目的を明確にし、管理や改修について再検討すべき③婚活事業は、本県市町村のみな

らず、県外にも呼びかけるべき。

答 外国に強いサイトを利用し情報発信事業を始める②見直しを行う時期に来ていると思っている。インフラ長寿命化計画を策定し、地元の方々と共に方針を定めていく③「えんトリ」というサイトを通じ改めて呼びかけていく。

使用済物品等放置防止条例

稲田 寿久議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

問 今般「鳥取県使用済物品等の放置防止に関する条例」が議会上程された。その立法事実と社会的受容性は何か、又、守らんとする保護法益、憲法の経済的自由との関連性、罰則の妥当性などについての所見を聞く。

答 放置使用済物品の適正な保管を義務づけること、それに対する潜在的ニーズがあること、公衆社会の平穏安全を確保し、生活環境の保全は憲法上の「公共の福祉」として許容性の範囲である。罰則も両罰規定を含めて適正である。

